

2021年度 学校評価(自己評価)

◆ICT による新しい学びの創造

2021 年度中学部入学生から 1 人 1 台のパーソナルコンピュータを必携化しました。また高校では 2022 年度新学習指導要領実施に先駆け、高校生全員に統計やプログラミングを必修化しデータサイエンスなどの新しい時代にふさわしい学びの創造に取り組みました。

◆グローバルな視点をもった学びの充実

スーパーグローバルハイスクール(SGH), スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校の経験を生かし、社会科学系・自然科学系の授業そして総合的な探究の時間等において SDGs などのグローバルな課題に取り組む探究的な学習を一層推進しました。しかし、引き続きコロナ禍で留学等の国際交流を中止せざるを得ず、オンライン交流などの限定した活動を展開しました。

◆キャリアデザイン教育の推進

高等学院の優位性を生かしたキャリアデザイン教育を推進しました。具体的には大学正規授業の履修や学部説明会やモデル授業の実施, 学院 OB による学部説明動画コンテンツづくりなどに取り組み, 学院生が進学後も各分野で活躍できるよう中高大一貫教育を見据えたキャリアデザイン教育を実施しました。

2021年度 保護者・生徒を対象とした学校評価アンケートについて

今後の高等学院および高等学院中学部の教育をより良くするため、保護者・生徒を対象にしたアンケートを実施しています。次に質問項目、アンケート結果の分析と改善点等を述べます。

【質問項目】

I 学校全体の取り組みについて

- I-1. 高等学院は生徒の自主性・自立性の育成に努めている
- I-2. 高等学院は中学・高校と大学との連携に努めている
- I-3. 高等学院は国際交流の推進に努めている

II 学習指導について

- II-1. 指導方法を工夫し、質の高い授業が行われている
- II-2. 生徒の進度やレベルに合った授業が行われている
- II-3. 生徒一人ひとりの学力を伸ばす授業が行われている
- II-4. 適切な評価が行われている

III 生徒指導について

- III-1. 組主任は生徒の欠席・欠課・遅刻の状況を把握し、生活面の指導を適切に行っている
- III-2. 組主任は生徒の成績を把握し、学習面のサポートを適切に行っている
- III-3. 組主任は進級・進学などのルールについて、保護者・生徒へ適切に説明を行っている
- III-4. 組主任は学部・学科などの情報を保護者・生徒に提供し、適切に進路指導を行っている
(生徒は高校のみ)

IV クラブ活動について

- IV-1. 生徒の安全面に配慮した適切な指導が行われている
- IV-2. 部長(顧問)は部員とコミュニケーションを取り、生徒の把握に努めている
- IV-3. 部長(顧問)は部活動の内容について、保護者へ適切に情報を提供している

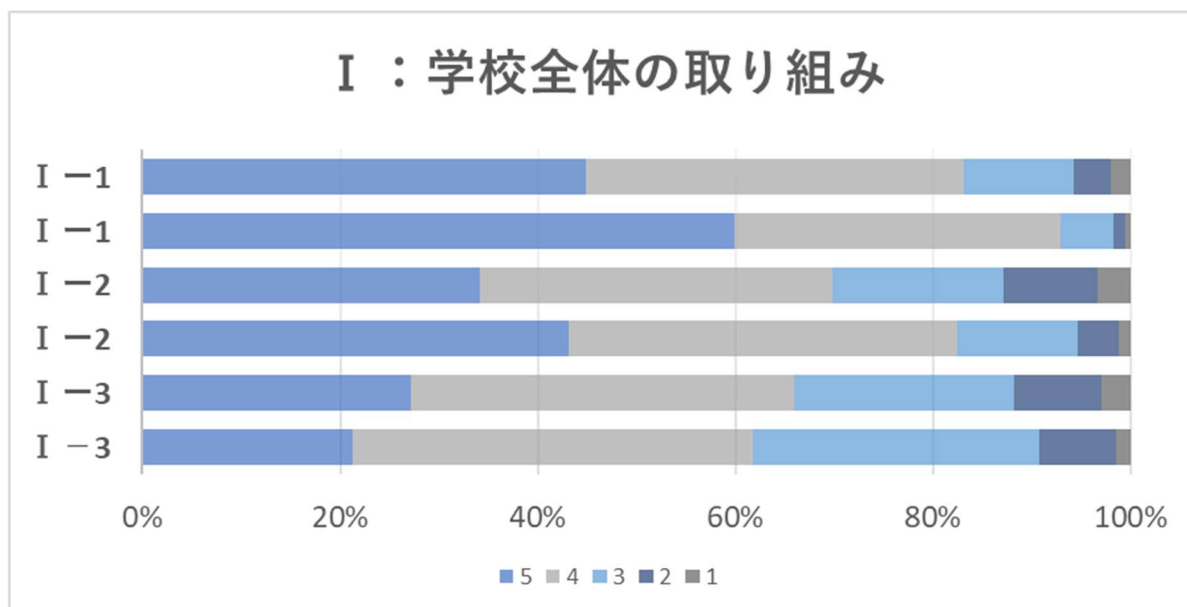
V 授業や勉強へのあなたの取り組みについて【生徒のみ】

- V-1. 私は授業に積極的に取り組んでいる
- V-2. 私は授業時間以外にも積極的に勉強をしている
- V-3. 私は授業時間以外にも積極的に取り組んでいるものがある

【アンケート結果の分析と改善点等】

I 学校全体の取り組みについて

(各項目 グラフ上段:保護者, 下段:中高学院生)



「そう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」

○質問項目 I-1.「生徒の自主性・自立性の育成に努めている」

本項目については、肯定的な意見の比率は高く、本校の目指す教育理念が保護者・生徒とも共有され、特に 2021 年度は生徒の肯定的割合が増加し、中高生ともに自主性・自立性を持ち始めていると言える。

○質問項目 I-2.「中学・高校と大学との連携の推進に努めている」

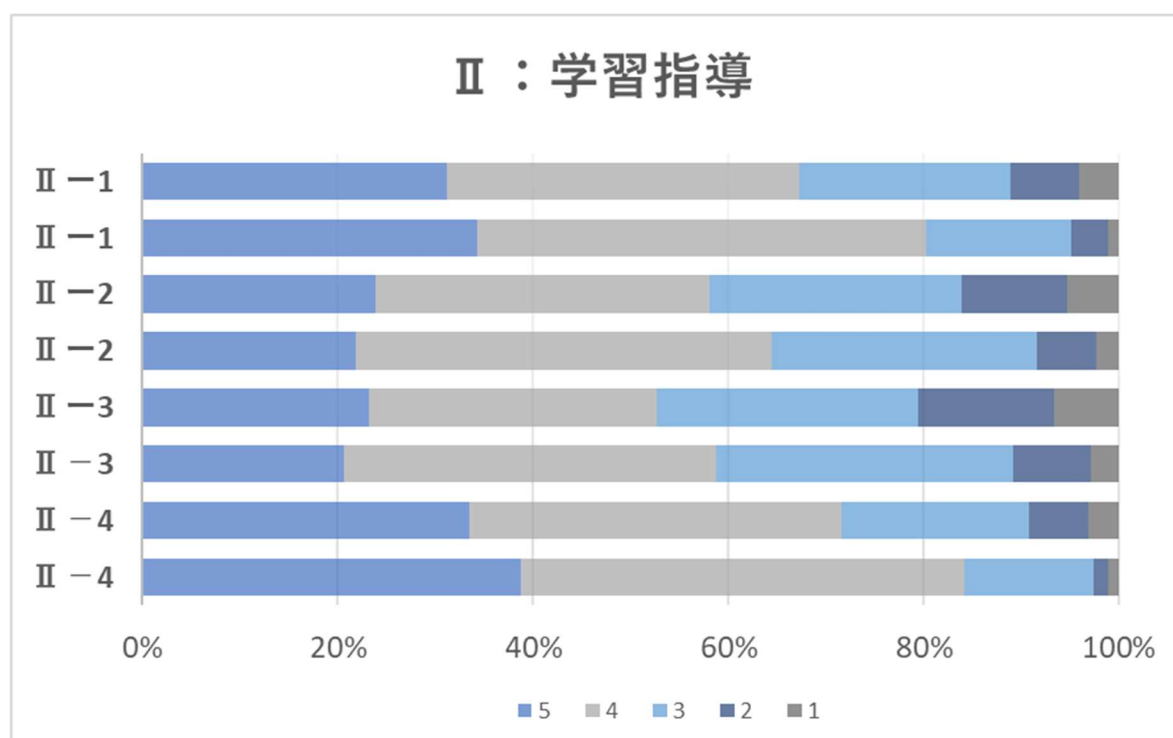
中高大連携の実践についての取り組みは、高等学院の特徴でもあり生徒・保護者ともに理解され浸透していると言える。

○質問項目 I-3.「国際交流の推進に努めている」

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、高等学院の国際交流の機会がなくなり、肯定的な意見がやや低くなっている。しかし、高等学院は短期・長期海外留学に加え英語科・第二外国語科における国際交流そしてスーパーグローバルスクール(SGH)の経験などを踏まえた高等学院の国際交流推進しており、保護者、生徒からも期待が高い。

Ⅱ 学習指導について

(各項目 グラフ上段:保護者, 下段:中高学院生)



「そう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」

○質問項目Ⅱ－１.「指導方法を工夫し、質の高い授業が行われている」

保護者・生徒とも肯定的な意見は多いが、今後とも授業の質の向上に努めていく必要がある。

○質問項目Ⅱ－２.「生徒の進度やレベルに合った授業が行われている」

前項目と比較すると肯定的意見の割合の比率は低い。さまざまな生徒に対してきめ細かく指導する必要がある。

○質問項目Ⅱ－３.「生徒一人ひとりの学力を伸ばす授業が行われている」

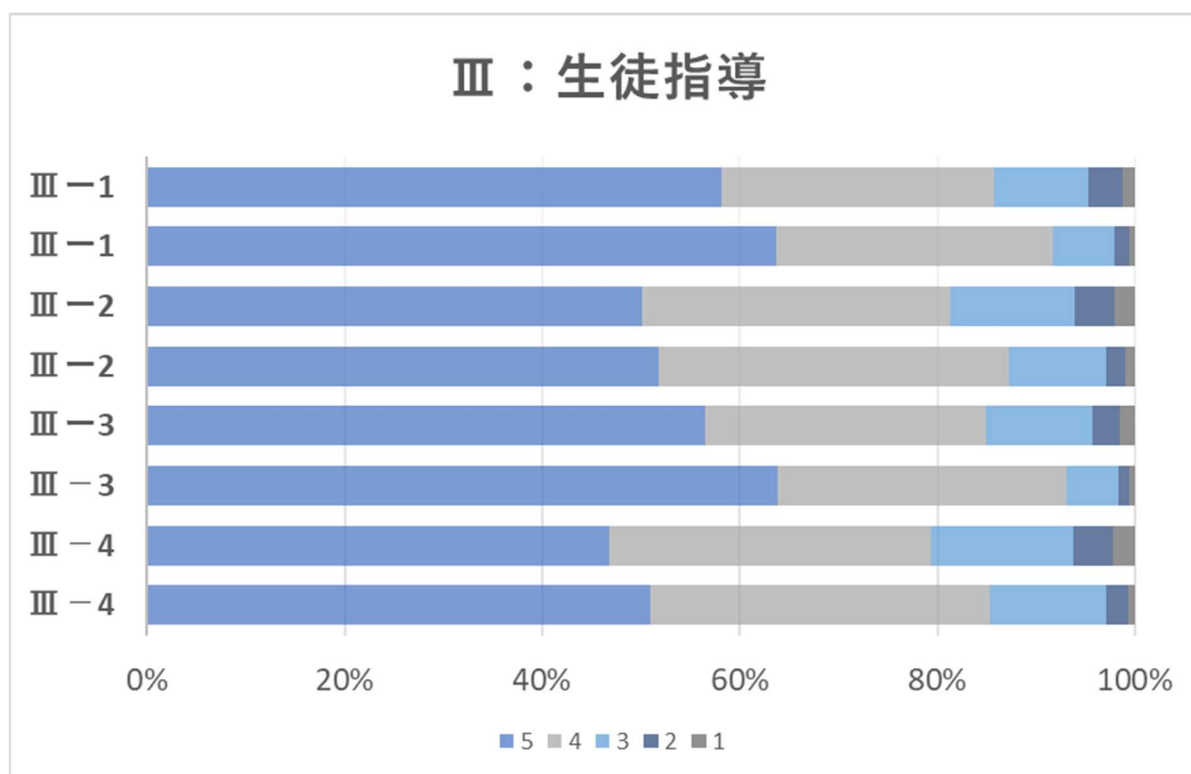
前項目と同様な傾向が見られる。「ややそう思う」が最も高く「そう思う」の比率がそれほど高くない。今後も引き続き、各教員による授業の質の向上への努力が必要である。

○質問項目Ⅱ－４.「適切な評価が行われている」

生徒に対して適切な学習評価を行うことは非常に難しい。生徒・保護者とも「ややそう思う」が最も高くなっているが、適切な評価を実現させるため、今後とも改善に努める必要がある。

Ⅲ 生徒指導について

(各項目 グラフ上段:保護者, 下段:中高学院生)



「そう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」

○質問項目Ⅲ-1. 組主任は生徒の欠席・欠課・遅刻の状況を把握し、生活面の指導を適切に行っている

○質問項目Ⅲ-2. 組主任は生徒の成績を把握し、学習面のサポートを適切に行っている

○質問項目Ⅲ-3. 組主任は進級・進学などのルールについて、保護者・生徒へ適切に説明を行っている

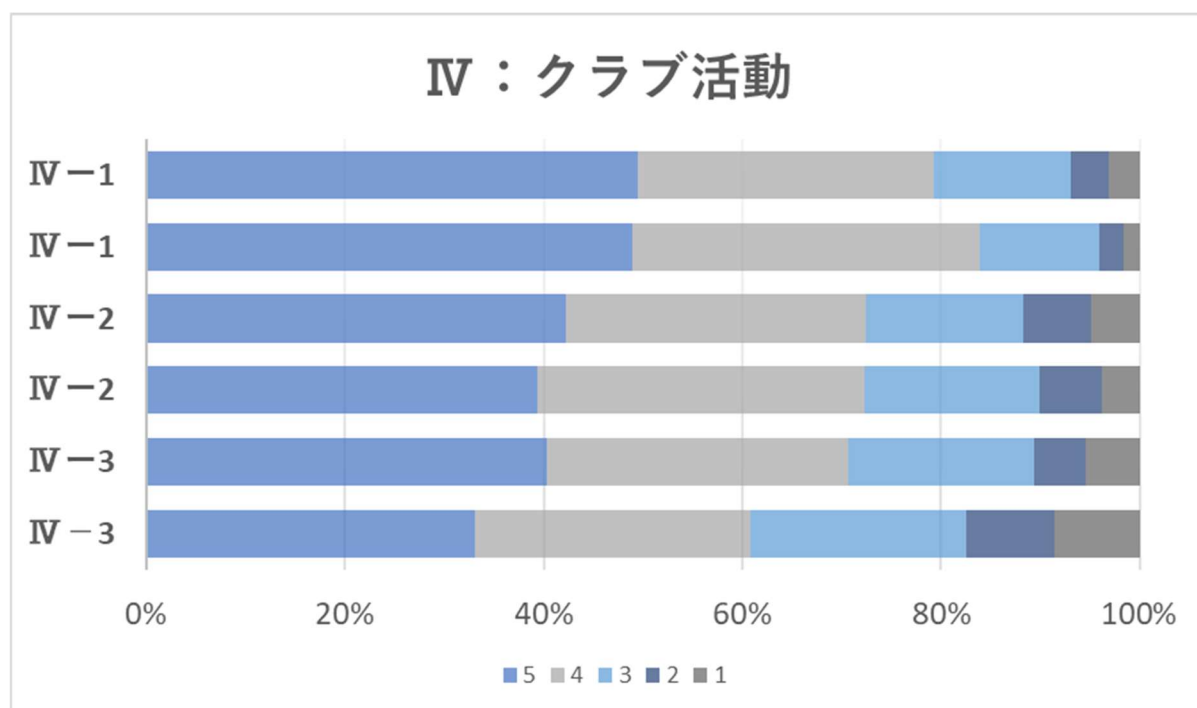
以上の項目において「そう思う」が最も多い回答になっており、昨年と同様に、保護者・生徒ともに高評価が得られた。組主任と生徒・保護者との信頼関係が良好の状態で保たれており、生徒に対する生活面・学習面でのサポート態勢が適切に組まれていることがこの結果からわかる。より一層の充実した生徒指導を行っていきたい。

○質問項目Ⅲ-4. 組主任は学部・学科などの情報を保護者・生徒に提供し適切に進路指導を行っている

進学指導については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施している学部説明会やモデル講義、本校 OB である学部生・大学院生と本校生徒との懇談会などが十分に実施できなかった。生徒たちへ早い段階から学部・学科進学の意識づけを行い、自身の進路について考えさせる取り組みを行っていく必要がある。

IV クラブ活動について

(各項目 グラフ上段:保護者, 下段:中高学院生)



「そう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」

○質問項目IV-1.「生徒の安全面に配慮した適切な指導が行われている」

保護者全体・生徒全体ともに「そう思う」「ややそう思う」で高い比率を占める。部活動においては、事故やけがなどの防止に心がけ、常に生徒の安全確保に留意する必要がある。

○質問項目IV-2.「部長(顧問)は部員とコミュニケーションを取り、生徒の把握に努めている」

この項目も肯定的な意見の比率が高く、部長(顧問)と生徒との間のコミュニケーションの重要性をしっかりと認識できていると思われる。

○質問項目IV-3.「部長(顧問)は部活動の内容について、生徒へ適切に情報を提供している」

肯定的な意見の比率は高いが、生徒の肯定的な意見の比率が 30%台である。今後ともより一層、部長(顧問)と生徒・保護者との連携を密にする努力を続けていくことが重要となる。

以 上